

 <p>山形県木材産協だより 題字 長谷川六郎</p>	<p>山形県木材産業協同組合 〒990-2473 山形市松栄 1-5-41 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699 URL:http://www.mokusankyo.jp E-mail:yamawood@mokusankyo.com</p>
--	--

目次

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1.三役会議開催!! | 4.オリパラ関連研修会開催!! |
| 2.新春林政講演会開催!! | 5.今井榮喜県政報告会・新年の集い |
| 3.素材生産部会新年会開催!! | 6.木と住まいの大博覧会出展!! |



1 三役会議開催!! (総会に向けた準備をお願いします。)

1月9日(水) 新年の挨拶廻り(県庁関係課と木材関連団体等)と三役会議を実施した。三役会議では、これまでの事業経過報告等が事務局から説明され、来年度の林野庁新規事業説明や4月の理事会、5月の総会等の日程・会場のほか、役員改選に向けた意見交換がなされた。理事会は4月24日(水)15時～メトロポリタン山形、総会は5月24日(金)15時～メトロポリタン山形において懇談会付で計画しています。日程調整等をよろしくお願いします。なお、役員改選につきましては、前役員と各支部、各部会を中心にご検討いただき、理事会まで推薦等準備をよろしくお願いします。

2 新春林政講演会開催!!

1月17日(木)パレスグランデールにて、「林業の新たなビジネスモデルづくりを目指して～南三陸におけるFSC認証を活用した取り組み～」と題し、南三陸森林管理協議会事務局長佐藤太一氏が講演した。佐藤氏は宮城県生まれ、山形大学大学院理工学研究科で宇宙放射線物理の研究に取り組んでいたが、震災後、家業を継ぐため帰郷した。彼は、宮城県初の国際森林認証(FSC)を取得し、その後、南三陸町役場新庁舎の全体プロジェクト認証を取得(公共施設として国内初)するなど全国から注目されている。「南三陸バイオマス産業都市構想」の実現に向けて、地元・南三陸の様々な業種が繋がって生まれた合同会社MMRの中心を担い、林業の新しいビジネスモデルの構築を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジしている。こうした取り組み事例を通して、本県の森づくりの方向性を考え、持続可能な林業経営の推進と地域の活性化に繋げていきたい。



講演に先立ち、県林業振興課で今年度創設された県産木材を活用した民間木造施設の顕彰「やまがた しあわせウッド賞」の授与式があり、マルカ林業(株)事務所(新庄市)、英照院(新庄市)、愛真こども園(白鷹町)、つぐみ・ドゥ・ほいくえん(天童市)、焼肉名匠山牛山形店(山形市)、レストラン イーストゲート サガエ(寒河江市)の6施設が顕彰状を授与された。

3 素材生産部会 新年会開催!!

平成31年の新春を迎え、29日(火)素材生産部会では役員会とその後一般会員を含めて拡大新年会を山形市内で開催した。役員会では、素材生産部会の活動報告と概算収支報告、厚生労働省からのお知らせ(安全対策)等が説明された。また、役員改選を含め、総会日程などの意見交換もされた。木産協からは、ホームページの中で素材生産部会のバナーを設け会員紹介や各社のホームページへの



リンク等を検討する提案があった。役員会終了後、悪天候にも関わらず集まっていた一般会員を交えて拡大新年会を約20名の参加で盛大に開催した。小関一也副会長の進行で佐藤久一副会長が開会を宣言し、遠田勝一会長が部会創立1周年に感謝しつつ大きく伸展した素材業界にさらなる会員相互の協力を訴えた。来賓の木産協阿部理事長は素材生産部会の益々の隆盛を祝い乾杯した。



4 オリパラ関連研修会開催!!

1月17日(木)パレスグランデールにて、オリンピック・パラリンピック選手村木材支援事業関連研修会と県JAS製材連絡協議会等の普及パンフレット作成の意見交換会が開催された。各JAS工場に搬入された材の評価や加工状況、乾燥状況、製材品質や二次加工のスケジュール等について、県担当者も含め意見交換を実施した。今年度不足している部材については、5月の連休後に搬出され、不足した工場を中心に再度納入する計画である。その後、強度確認し、プレカット加工され、塗装後東京に向けて出荷する計画になった。



研修会后、県JAS製材連絡協議会監修のJAS材普及パンフレットの内容、レイアウト等の意見交換が行われ、今月下旬には完成する見込みである。

5 今井榮喜県議県政報告会と新年のつどい!!

1月20日(日)パレスグランデールにて、今井榮喜県政報告会と新年の集いがあり、専務が出席した。冒頭今井榮喜講演会会長から、今井県議が今回限りで勇退する旨報告があり、来賓者も含め、会場が静まりかえった。とまどう来賓の挨拶の後、今井県議が経過報告を説明した。自民党では、後藤源氏、平弘造氏、佐藤藤也氏などの重鎮が相次いで勇退を発表し、今井氏に一任された感が強かっただけに求心力の低下が懸念される場所である。せめて、もう1期という声が会場内では多く聞かれた。今井県議はご存じのとおり、林業・木材製造業労働災害防止協会山形県支部長であり、県森林協会前会長など県森林関係団体の要職を歴任され親森林派として県議会でもご活躍いただいた。今後とも変わらぬご支援をお願いしたい。



6 木と住まいの大博覧会 出展!!

2月1～2日東京ビッグサイト西棟1・2ホールにおいて、「木と住まいの大博覧会」が開催され、山形県ブースに木産協が出展した。一般顧客も参加する国内最大級の展示会で、2日間で約4万6千人が来場した。今年度はJAS利用拡大事業を活用し、JAS構造躯体展示やDVDでの取組みの紹介・パンフレット配布のほか、県広葉樹利用拡大協議会による県産広葉樹材のフローリング、壁材、木工品等を展示した。木産協では、木育用積み木コーナーや授産施設で製作された

木工品の展示、山形県の製材業全般や森林資源等のPR、観光PRを実施した。また、同日併催行事の「SDGs時代の住まい・建築・木材活用シンポジウム」に専務が出席し、東京大学教授の村上周三氏によるSDGsと建築と題した基調講演と首都大学教授小泉雅生氏、環境会議副代表星野智子氏、東京大学名誉教授有馬孝禮氏、ナイス(株)会長平田恒一郎氏による「SDGs視点での建築・木材活用を考えるパネルディスカッション」において、地球規模の産業活動がすべて資源循環型社会の環境に配慮した方向に進んでいくことを学んだ。各種セミナーでは、(株)シェルター常務安達広幸氏が「ここまでできる木造・木質化の新たなデザイン」と題して技術を訴え、全木連常務森田一行氏は「クリーンウッド法の概要と平成31年度林野庁木材関係新規予算について」を紹介していた。また、今回山形県ブースは全木連ブースと隣り合わせになったことから、ナイスの平田会長、牧元林野庁長官からも訪問いただき、山形県の広葉樹材や優れた木工品を紹介することができた。また、JAS関連事業やクリーンウッド法関連担当者などとも詳細打合せができ、有効なイベントとなった。



木工品の展示、山形県の製材業全般や森林資源等のPR、観光PRを実施した。また、同日併催行事の「SDGs時代の住まい・建築・木材活用シンポジウム」に専務が出席し、東京大学教授の村上周三氏によるSDGsと建築と題した基調講演と首都大学教授小泉雅生氏、環境会議副代表星野智子氏、東京大学名誉教授有馬孝禮氏、ナイス(株)会長平田恒一郎氏による「SDGs視点での建築・木材活用を考えるパネルディスカッション」において、地球規模の産業活動がすべて資源循環型社会の環境に配慮した方向に進んでいくことを学んだ。各種セミナーでは、(株)シェルター常務安達広幸氏が「ここまでできる木造・木質化の新たなデザイン」と題して技術を訴え、全木連常務森田一行氏は「クリーンウッド法の概要と平成31年度林野庁木材関係新規予算について」を紹介していた。また、今回山形県ブースは全木連ブースと隣り合わせになったことから、ナイスの平田会長、牧元林野庁長官からも訪問いただき、山形県の広葉樹材や優れた木工品を紹介することができた。また、JAS関連事業やクリーンウッド法関連担当者などとも詳細打合せができ、有効なイベントとなった。

7 林業労働災害減少へ!! 厚生労働省の取り組み

林業における労働災害は長期的には減少傾向にあるものの、平成23年以降の死亡者数は40人前後で推移しています。林業における労働災害の一層の減少を図るため、伐木等作業における安全対策を強化することが求められております。厚生労働省は、このたび、「伐木等作業における安全対策の在り方に関する検討会報告書」(平成30年3月6日公表)を踏まえ、伐木及びかかり木の処理及び造材の作業における危険並びに車両系木材搬出機械を用いた作業による危険等を防止するため、事業者が構すべき措置等について、労働安全規則(昭和47年労働省令第32号)の所要の改正を行うこととした。改正の主なポイントは、①伐木の直径等で区分されているチェーンソーによる伐木作業等の特別教育を統合します。②伐木作業等における危険を防止するため、受け口を作るべき立木の対象を胸高直径が40cm以上のものから、20cm以上に拡大する等立木を伐倒するときの措置を義務付ける。③事業者に対して、かかり木の速やかな処理を義務付るとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項を規定すること。④伐木作業において、当該立木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならない。⑤チェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること。等が2月公布の8月1日から施行予定です。

8 2月以降の行事予定

日程	行事名	予定出席者
2.1-2	木と住まいの大博覧会 (東京ビッグサイト)	副理事長他
2. 6	「森林ガイダンス」(ビッグウイング)	専務
2. 12	県森林病虫害対策会議 (県庁 1001 会議室)	専務
2. 13	県産積木配布事業セレモニー (白鷹町内)	専務
2. 15	森林管理制度説明会 (村総 2F 講堂)	専務
2. 18	山形木材業組合総会 (山形市内)	理事長他
2. 19	消費税に伴う住宅支援制度説明会 (山形テルサ)	専務
2. 22	山形中央市場「あおば会」総会 (上山市内)	理事長他
2. 25	県プレカット協会役員会 (山形市内)	副理事長他
3. 4	全木連平成31年度事業説明会 (東京)	専務
3. 7	県森林・林業技術普及推進会議 (寒河江市内)	専務
3. 8	県立農林大学校 卒業式	理事長
3.19-20	全木連理事会・事務局長会議 (東京)	理事長・専務

9 2018年の年間住宅着工数発表!!

本県の新設住宅着工数 (H30.1~12) は、6,362戸 (前年比 115.3%) となり、久しぶりに6千戸の大台を超えた。持家で3,160戸 (前年比 106.2%)、貸家で2,322戸 (前年比 126.4%)、分譲住宅で855戸 (前年比 130.9%) となっており、マンション等が増えたことが大きな要因ですが、全国的には94万2,370戸 (前年比 2.3%減) で2年連続の減少となっていることから、山形県だけの特質と言えます。全国的には、持家は過去最低を記録し、貸家は7年ぶりの減少となった。持家は床面積も過去最低となった。唯一、戸建分譲住宅だけが好調で、年間で14万戸を超え、22年ぶりの高い水準となった。

10 日本百名山シリーズ紹介 (鳳凰三山)

新宿から松本に向かう「スーパーあずさ」に乗って葦崎駅を過ぎる頃から、車窓に南アルプスの迫力ある山容が飛び込んできます。その中で、白い岩肌の甲斐駒ヶ岳の手前に尖った岩の見える山頂が鳳凰三山の一つ地蔵岳です。尖った岩はオベリスクと呼ばれる岩塊で、手を合わせている姿に似ていることから地蔵岳となったと言われています。最高峰は観音岳 (2,841m) で薬師岳と併せて鳳凰三山と呼ばれている百名山です。三つの



山の稜線からは白鳳三山 (北岳、間の岳、農鳥岳) が左手に、甲斐駒ヶ岳が正面に、右手に八ヶ岳、右後方には富士山が見える南アルプス有数の展望が楽しめます。夜叉神峠からの稜線はトレイルランお薦めコースにもなっています。ここは花崗岩の砂地ではありますが、3,000m近くの稜線を走るのはいかがなものかと思えます。普通の人では登るので精一杯です。私は、甲府からバスで広河原まで行き、白鳳峠経由で三山を登り、中道コースを下り青木鉱泉に日帰り下山しました。少々強行軍であり、通常は1泊2日コースであると思います。また、高山植物も豊富で、疲れたとき足元に目を向けると白い砂地にブルーのミヤマシヤジンが稜線近くでも多く見られ、少しホッとします。



11 厚生労働省からのお知らせ (詳細は厚生労働省ホームページへ)

事業主の皆さまへ

「働き方」が変わります!!

2019年4月1日から
働き方改革関連法が順次施行されます

Point

1

施行：2019年4月1日～ ※中小企業は、2020年4月1日～

時間外労働の上限規制が導入されます！

時間外労働の上限について、**月45時間、年360時間**を原則とし、
臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、
複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。
⇒時間外労働ができる時間数を設定し、労働基準監督署に届け出ていただく際の様式と記載例を
厚生労働省HPにアップしました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322_00001.html

Point

2

施行：2019年4月1日～

年次有給休暇の確実な取得が必要です！

使用者は、10日以上有給休暇が付与される全ての労働者に対し、
毎年5日、時季を指定して有給休暇を与える必要があります。

⇒時季指定の仕方など、具体的な付与の仕組みを整理した資料を厚生労働省HPにアップしました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322_00001.html

Point

3

施行：2020年4月1日～ ※中小企業は、2021年4月1日～

正社員と非正規社員の間で不合理な待遇差が禁止されます！

同一企業内において、
正社員と非正規社員（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、
基本給や賞与などの個々の待遇ごとに不合理な待遇差が禁止されます。

⇒改正法への対応に向けた手順など、取組の参考となる情報を厚生労働省HPにアップしました。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144972.html>

「働き方」に関する詳細・お悩みは【相談窓口】へ
改正法の詳細は厚生労働省HP『「働き方改革」の実現に向けて』をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>



12 12月期の住宅着工状況

平成30年12月期の県内新設住宅着工戸数は688戸となり、対前月比139.6%、対前年同月比150.5%、前年累計比115.3%となった。地域別で山形市、東根市、米沢市、酒田市が前年比・累計比とも大きく伸びている。木造率は61.3%で、山形市のマンションが原因である。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
29.1~11月	5,059	2,749	1,665	49	596	5,018	41	4,269	84.4%	3,098	90	1,081
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
29.1~12月	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
7月	469	321	104	0	44	467	2	419	89.3%	302	8	109
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
10月	541	298	173	3	67	537	4	495	91.5%	341	12	142
11月	493	275	165	0	53	489	4	438	88.8%	297	12	129
12月	688	263	204	0	221	684	4	422	61.3%	254	6	162
対前月比	139.6%	95.6%	123.6%	-	417.0%	139.9%	100.0%	96.3%	-	85.5%	50.0%	125.6%
対前年同月比	150.5%	115.9%	118.6%	0.0%	387.7%	150.3%	200.0%	107.7%	-	94.8%	75.0%	139.7%
29.1~当月計	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30.1~当月計	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
対累計前年比	115.3%	106.2%	126.4%	50.0%	130.9%	110.3%	751.2%	107.6%	-	100.0%	130.6%	127.0%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	688	6,362	150.5%	115.3%	5,015
山形市	392	2,153	195.0%	139.8%	1,360
上山市	8	130	42.1%	113.0%	112
天童市	32	345	69.6%	67.5%	330
山辺町	4	77	400.0%	148.1%	76
中山町	4	41	133.3%	95.3%	40
東南村山	440	2,746	163.0%	121.5%	1,918
寒河江市	18	322	112.5%	119.7%	314
河北町	2	71	200.0%	120.3%	67
西川町	1	7	100.0%	70.0%	6
朝日町	0	4	-	133.3%	4
大江町	2	27	100.0%	103.8%	26
西村山	23	431	115.0%	117.4%	417
村山市	5	75	166.7%	133.9%	72
東根市	42	384	144.8%	84.4%	351
尾花沢市	2	41	200.0%	73.2%	41
大石田町	0	4	0.0%	15.4%	4
北村山	49	504	144.1%	85.0%	468
村山地域	512	3,681	158.0%	114.3%	2,803
新庄市	0	131	0.0%	113.9%	126
金山町	0	7	-	100.0%	7
最上町	1	17	-	113.3%	15
舟形町	1	5	-	71.4%	5
真室川町	0	2	0.0%	14.3%	2
市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	8	0.0%	16.0%	7
鮭川村	0	10	0.0%	90.9%	9
戸沢村	0	9	-	180.0%	9
最上地域	2	189	20.0%	105.6%	180
米沢市	48	863	800.0%	165.3%	570
南陽市	15	116	750.0%	62.0%	113
高島町	6	91	50.0%	124.7%	87
川西町	1	60	-	214.3%	29
東南置賜	70	1,130	350.0%	139.5%	799
長井市	11	116	55.0%	86.6%	110
小国町	0	4	-	19.0%	4
白鷹町	4	67	400.0%	239.3%	55
飯豊町	0	13	-	118.2%	12
西置賜	15	200	71.4%	103.1%	181
置賜地域	85	1,330	207.3%	132.5%	980
鶴岡市	32	486	82.1%	90.7%	467
三川町	8	60	-	250.0%	50
庄内町	4	78	100.0%	166.0%	70
田川	44	624	102.3%	102.8%	587
酒田市	44	496	122.2%	102.9%	425
遊佐町	1	42	33.3%	182.6%	40
飽海	45	538	115.4%	106.5%	465
庄内地域	89	1,162	108.5%	104.5%	1,052

注:累計は平成30年1月~